



ふじみっ子だより



No. 4

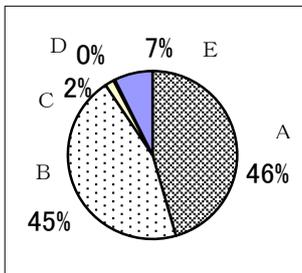
名古屋市立富士見台小学校 学校だより

<http://www.fujimidai-e.nagoya-c.ed.jp>

学校教育に関するアンケート結果

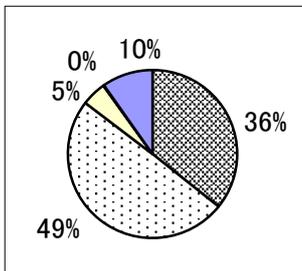
アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

- A あてはまる B どちらかといえばあてはまる C どちらかといえばあてはまらない
D あてはまらない E 分からない



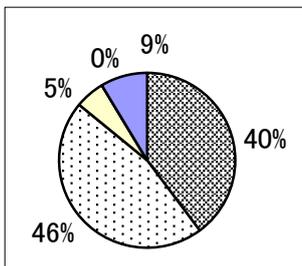
1. 学校は、あいさつ運動や学年・学級での取り組みを通して、日頃から学校が笑顔で登校できる楽しい場所となるように努めている。

A・Bを合わせて91%という結果でした。コロナ禍であってもあいさつができるよう、児童会から「べこりであいさつ」という提案が生まれ、毎朝継続して活動することができました。今後は児童の自主的、主体的な活動を支援し、楽しい学校生活を送れるよう、継続していきたいと考えています。



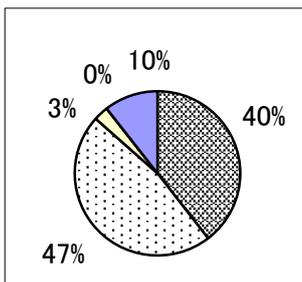
2. 学校は、各教科の授業を通して、基礎基本の定着を図り、子どもたちが「分かる」「できる」と感じることができる主体的な授業づくりに努めている。

A・Bを合わせて85%という結果でした。今年度は、臨時休校によって削減された授業時数の確保のため、全学年、週あたり1時以上多く学習しました。また、「朝の学習」の時間を増やし、基礎学力の定着や学習意欲の向上を図っています。今後は、子ども一人一人に、学ぶ楽しさを味わえるよう努めていきます。



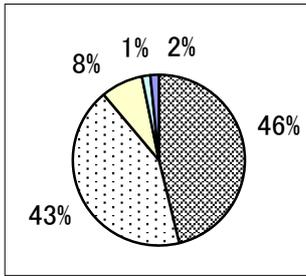
3. 学校は、学校生活アンケートやスクールカウンセラーとの連携などを通して子どもたちが、いじめや不安のない学校生活を送れるように努めている。

A・Bを合わせて86%という結果でした。「ふじみっ子アンケート」や「学校生活アンケート」を学期に1回程度行い、いじめに関する記述があるときは、すぐに個別の相談時間を設けています。また、スクールカウンセラーを活用していただいているご家庭も増えてきていますので、ご希望の方は、いつでも学校までご連絡ください。



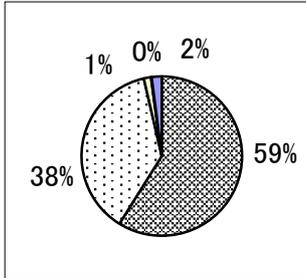
4. 学校は、「学校教育努力点」において、コロナウィルス感染症対策を考慮しつつ、なかまと共感できる授業を目指し、主体的に活動する児童の育成に努めている。

A・Bを合わせて87%という結果でした。新型コロナウイルス感染症対策の規準を意識しつつ、短時間での対話やカード交換等の工夫により、互いの思いをやりとりできる活動に取り組みました。現在のような社会情勢だからこそ、学校教育において児童につながりや共感を体験させることの重要性を感じています。



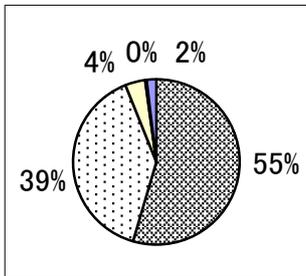
5. 学校は、遠足や作品展、入学式や卒業式などを通して、子どもたちの励みとなり、心に残るような学校行事の開催に努めている。

A・Bを合わせて89%という結果でした。本年度は新型コロナウイルス感染症対策に配慮した行事となり、年度途中の変更や中止を余儀なくされました。皆様のご理解、ご協力に感謝を申しあげます。来年度以降も、新しい形の学校行事に取り組むこととなりますが、各行事を通して身に付けることができる力を念頭に置き、普段の学習活動とのバランスを考えながら進めていきます。



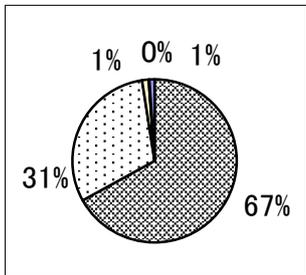
6. 学校は、避難訓練、防犯訓練、交通訓練などを通して、子どもたちが安全に過ごすことができるように努めている。

A・Bを合わせて97%という結果でした。児童の安全指導は最も重要な教育活動の一つと考え、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた上で、できる限り開催してきました。来年度も学校の職員だけでなく学区の見守り隊の方々や警察、交通指導員と連携し、安全の大切さを子どもたちに伝えていきます。



7. 学校は、個人懇談会、教育相談週間、連絡帳、電話による連絡を通して子どもたちの様子を伝えたり、保護者の相談に応じたりすることに努めている。

A・Bを合わせて94%という結果でした。子どもたちのけがやトラブルについては、できる限り迅速な対応を心掛けています。また、今年度はコロナ禍であっても保護者の皆様とお話する時間を確保したいという思いから、個人懇談会を2回実施することにしました。今後も、お子さんのことで何かお困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。



8. 学校は、学年・学校だよりや「なごやっ子 あんしんメール」などを通して、保護者が必要な情報を発信するように努めている。

A・Bを合わせて98%という結果でした。「学年だより」や「学校だより」などの印刷物では、月の予定表だけでなく、行事で子どもたちが頑張っている姿や学校教育努力点の授業の様子を載せています。また、下校時刻の変更など急な連絡は、「なごやっ子 あんしんメール」を使って多くのメール配信を行いました。今後も分かりやすい情報を、適切に発信していきます。

本校の委員会活動には「〇〇キャンペーン」という活動が多く見られます。これは、教師が児童に教え伝えるのではなく、児童自らが現在の学校の様子を振り返り、今の自分たちに必要なものは何なのかを考えて活動するものです。本年度は、代表委員会の「トイレのスリッパをそろえようキャンペーン」、美化委員会の「ばい菌を退治しよう！掃除大作戦」、体育委員会の「なわとビンゴ大会」、給食委員会の「給食のマナーを身に付けろ～ぼくらの五日間戦争～」、保健委員会の「手洗いキャンペーン～菌滅の刃～」などがありました。本校の児童は、コロナ禍において自分たちに何ができるのかを考え、仲間と共に行動することができます。来年度も、児童の主体的に活動できる力をさらに伸ばすことができるよう、職員一同尽力して参ります。

また、保護者アンケートには、学校をよりよくするためのご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。本校では、記名式のアンケートを採用しています。それは、子どもたちの健全な育成は、学校、家庭、地域が一体となって進めていくものと考えているからです。来年度も、いただいたご意見を大切に、学校、家庭、地域にとって実りある学校運営を目指していきます。詳細については、「令和3年度の学校教育活動について」に載せてありますので、ご覧ください。

本年度も、学校教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。今後とも、よろしく願いいたします。